

授業科目 治療学演習 I

【担当教員名】 相馬 俊雄、亀尾 徹、佐藤 成登志 椿 淳裕、松本 香好美		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	60 (15)
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 運動器疾患に対する理学療法を実施するために、四肢・体幹の関節障害の病態・回復過程・治療手技（手段）について演習する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 各種運動器疾患に対する治療方法を演習できる。 2. 運動器疾患に対する徒手の治療法を実施することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	下肢運動器疾患の治療学 1			1・2	実習、担当：相馬 俊雄
2	下肢運動器疾患の治療学 2			1・2	実習、担当：相馬 俊雄
3	下肢運動器疾患の治療学 3			1・2	実習、担当：相馬 俊雄
4	下肢運動器疾患の治療学 4			1・2	実習、担当：相馬 俊雄
5	体幹（腰部・脊柱）運動器疾患の治療学 1			1・2	実習、担当：相馬 俊雄 他
6	体幹（腰部・脊柱）運動器疾患の治療学 2			1・2	実習、担当：相馬 俊雄 他
7	肩関節運動器疾患の治療学			1・2	実習、担当：相馬 俊雄 他
8	まとめ			1・2	実習、担当：相馬 俊雄
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席、授業態度、実技試験、口頭試問			【履修上の留意点】 Tシャツ、短パンの上に白衣（ケーシー）を着用して、授業に臨むこと。		